

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	福祉住環境コーディネーター概論	担当者名	芳賀 砂智子
授業の概要	高齢者・障がい者の身体、精神、生活、福祉用具や利用空間に関する理解と、生活要求に対応する知識を習得し、福祉住環境整備の一部始終を統括することができる「福祉住環境コーディネーター」としての知識や技術を習得する。福祉・介護業界だけでなく医療や建築などの幅広い業界に役立つ。				
科目の到達目標	・高齢者・障害者の身体、精神、生活、福祉用具や利用空間に関する理解を深める ・福祉住環境コーディネーターとしての基本的な知識や技術を習得する ・概ね福祉住環境コーディネーター3級の資格取得を目指す（概ね3級の検定試験範囲を考慮した内容である）				
DPの観点	③柔軟性10% ⑤社会性20% ⑥専門知識・技能20% ⑧実践力50%				
授業時間外学修（予習・復習）	テキストや配布物について、各自取り組むこと（準備学習2時間、復習2時間）				
フィードバックの方法	課題の返却やコミュニケーションカードにてフィードバックする				
単位認定の要件	15回目の授業で期末試験を行い、総合的に評価する				
評価の方法・割合（%）	期末試験60%、提出物20%、授業内活動20%				
履修上の注意事項	福祉住環境コーディネーターの資格取得には、本講義とは別に公的試験を受験する必要あり				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			福祉住環境コーディネーターとは、日本の住環境の問題点	③⑥⑧	コミュニケーションカード
2			少子高齢化社会とユニバーサル社会への道	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
3			在宅生活の維持とケアサービス（介護保険制度）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
4			在宅生活の維持とケアサービス（障害者総合支援法）	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
5			健康と障害の捉え方	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
6			バリアフリーとユニバーサルデザイン	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
7			生活を支えるさまざまな用具（福祉用具）①	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
8			生活を支えるさまざまな用具（福祉用具）②	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
9			安全・安心・快適な住まい（基本技術）①	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
10			安全・安心・快適な住まい（基本技術）②	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
11			安全・安心・快適な住まい（生活行為別）①	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
12			安心・安全・快適な住まい（生活行為別）②	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
13			安全で安心できる住生活とまちづくり	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
14			安全で安心して暮らせるまちづくり	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
15			これまで学習した内容を整理する。	⑤⑥⑧	コミュニケーションカード
期末試験			これまで学習した内容の振り返りを行う。		

使用テキスト	福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト 東京商工会議所
参考文献 参考URL	ユーキャン福祉住環境コーディネーター3級 速習テキスト
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--